



〈目次〉

【診療科・部門紹介】

- 》てんかんセンター
- 》放射線科
- 》整形外科
- 》矯正歯科
- 》地域医療連携センター
- 》眼科

●○医科診療案内

- 病院再開発 新病棟(C棟)が竣工しました

理念

鹿児島大学病院は、21世紀に輝くヒューマン・トータルケア病院の構築を目指し、医療人の育成及び医学・歯学の研究の充実と発展に貢献すると共に、常に患者さん本位の原点に立った、質の高い医療を提供します。

基本方針

1. 患者さんの権利を尊重し、安心して安全な納得のいく治療を心がけます。
2. 質の高い医療、先進的医療の充実を図り、地域の中核的医療機関として貢献します。
3. 教育・研修病院として、地域の医療機関との連携を図り、人間性豊かな使命感にあふれる医療人を育成します。
4. 診療を通じてわが国の医学・歯学の研究を推進し、医学・歯学及び医療の国際貢献を目指します。
5. 安全で効率の高い病院運営体制を確立します。

患者さんの権利と責務

〈患者さんの権利〉

1. 良質な医療を公平に受ける権利
2. 人としての尊厳を尊重される権利
3. プライバシーや個人情報が保護される権利
4. 自分の状態や診療内容について説明と情報提供を受ける権利
5. 自分の意思で医療を選択する権利

〈患者さんの責務〉

1. 自分の健康状態についてできる限り正確な情報を提供する責務
2. 当院の規則を守り、迷惑行為を慎む責務
3. 診療費を速やかに支払う責務

診断から外科治療まで幅広く てんかんの診療を行う

てんかんセンター

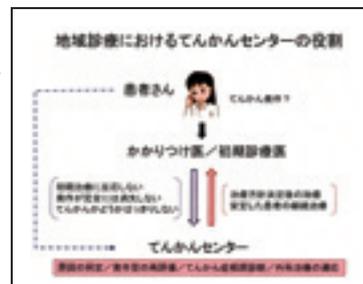
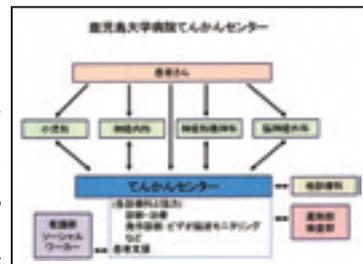
てんかんは日本に約100万人の患者さんが存在する、頻度の高い疾患です。一方で、症状や年齢層が多様であり、しばしば精神症状なども合併するために、担当する診療科は神経精神科・小児科・神経内科・脳神経外科と多岐にわたります。鹿児島大学病院では、総合的なてんかん診療対応ができるように、てんかんセンターを設立しました。

どの科を受診すれば良いのかわからない患者さんには、診療窓口となり患者さんの病状や状況に応じて、神経精神科・小児科・神経内科・脳神経外科の各専門科への受診をお勧めします。また、長く治療を受けているがなかなか発作が止まらない、症状はあるがてんかんかどうかはつきりしない状態が続くなど、診断や治療に難渋している患者さんに対し、長時間ビデオ脳波記録などによるてんかんの診断や、手術で改善が期待されるてんかんの場合には外科治療も行っています。

てんかんセンターでは、てんかんの診断から外科治療まで積極的に取り組んでいます。詳しくお知りになりたい方は、センター代表受付にご相談下さい。

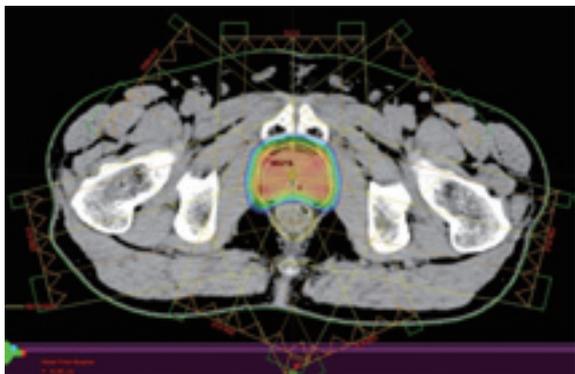
TEL 099-275-5828 (脳神経外科:てんかんセンター代表受付)

Email epilepsy@m2.kufm.kagoshima-u.ac.jp

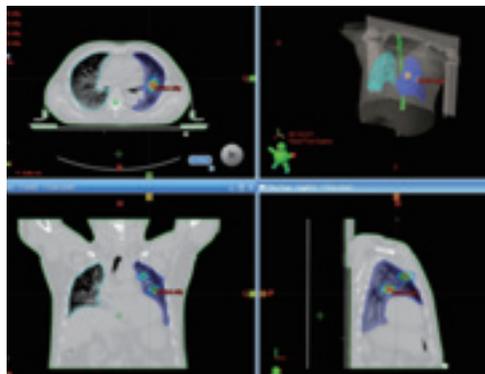


CT、MRI、PET-CT、IVR、RT

放射線科



前立腺がんの強度変調
放射線治療(IMRT)



転移性肺がんの
定位放射線治療(SRT)

ある町内会での会話
自己紹介で放射線科ですと話したら、
『放射線科ってどんな仕事をしているの?』『レントゲン写真を撮っているの?』
と聞かれたので
『CTやMRIやPET-CTや放射線治療を担当しています』
と説明した。IVRは説明しづらかったので省略した。
『良く判らないが、CTとか、MRIとか、PETというのは聞いたことはあるわ。』
といった具合です。

この様に『放射線科』という名前よりも『CT』や『MRI』や『PET』なんかの方が良く知られています。日々の画像診断だけでなく、画像診断の進歩の推進につとめ、それを応用した低侵襲のインターベンショナルラジオロジー:IVR、さらに高エネルギー放射線を用いて『がんを切らずに治す』高精度放射線治療などを担当しています。

今回は紙面の都合で、近年の画像診断の進歩に伴って著しく進化した高精度放射線治療についてご紹介いたします。

当院ではノバリスTxなどの世界でトップレベルの装置で治療を行っておりますが、正常組織にはできるだけ放射線がかからず、正確にがん病巣だけに放射線をあてるべく、ほとんどの症例で画像誘導下の放射線治療(IGRT)を行っております。また早期肺がんや肝がんなどに対して約1週間程度で治療が終わる『ピンポイント照射SRT(定位放射線治療)』や、県下では唯一『がんだけに放射線を照射する』強度変調放射線治療(IMRT)など『より効果の高い、より副作用の少ない』放射線治療をこころがけております。

他に子宮癌の腔内照射や前立腺癌の永久刺入療法も行っております。

高度な骨関節変形例に対する最新の手術支援システム 整形外科 —実物大3D骨モデルを用いたシミュレーション

変形性関節症(股関節脱臼後)や脊椎側彎症など、高度の骨・関節変形をともなう疾患の手術は、正常の解剖学的な位置関係と大きく異なる(図1)ため、技術的に困難となります。現在、そのような症例の術前評価にはCT(コンピュータ断層撮影)から構築された3次元画像を活用しています。しかし、これらの画像はパソコンのモニター上に表示されたもので、実際の手術における骨欠損の大きさや、再建するための移植骨の大きさのシミュレーションには不十分でした。

そこで当科では、術前計画を正確に行うために、病変部の実物大モデルを作成してシミュレーションを行い、手術手技の正確性・迅速性を高めています。患部のCT画像データを元に専用ソフトを用いて3次元画像を作成し(図2)、3次元プリンターで実物大の骨関節モデルを作成します(図3)。このモデルを用いて、手術のシミュレーションを行い、複雑な手術イメージをスタッフ間で共有・補完したうえで手術に臨みます。その結果、関節・脊椎の難易度の高い手術について、安全性および正確性の向上が得られています(図4)。

該当する疾患の患者さんは是非一度ご相談ください。大学病院の整形外科をはじめて受診される方(初診)は、毎週月曜日・水曜日の午前8時15分～午前11時までの受付です。予約は特に必要ありません。

【初診受付】毎週月曜日・水曜日午前8時15分～午前11時 (予約不要)

整形外科外来 TEL 099-275-5840



(図1)

(図2)

(図3)

(図4)

(図1)人工関節のゆるみにより、股関節に大きな骨欠損が生じています(矢印部分)。
(図2)CT画像を三次元的に再現したものです。
(図3)CT画像データをもとに、3次元プリンターで作成した患者さん専用の骨モデル(樹脂製)。オレンジ色の部分が必要な骨移植の形状と容積を示しています。
(図4)同じ患者さんの手術後のレントゲン画像。矢印の部分に骨移植を行い、元来の股関節の位置に戻っています。

歯科矯正用アンカースクリューをご存じですか？

矯正歯科

歯科矯正用アンカースクリューはあごの骨にチタン製のねじを埋め込んで固定源として使用する装置です。歯科矯正用アンカースクリューを使用すると、歯の確実な移動が可能となり、その結果治療期間が短縮され、理想に近い治療結果が得られやすくなります。また、成人の患者さんでは歯科矯正用アンカースクリューを使用することでヘッドギアの使用が不要になったり、今までは難しかった歯の動きが可能となることで外科手術を回避できることがあります。その他にも歯周病などで歯に固定源を求めることができない患者さんでも歯科矯正治療を行うことが可能となります。

矯正歯科では外から見えない装置による治療(リンガルブラケット矯正法)も行っており、歯科矯正用アンカースクリューはリンガルブラケット矯正法と同時に使用する場合もあります。

歯並びやかみ合わせのことでお悩みの方は是非この機会にお気軽に矯正歯科外来(TEL 099-275-6620)までご相談下さい。



地域医療連携センター

当センターには、入院や退院後の生活に関する事、また、がんに関する相談窓口があり、担当の看護師やソーシャルワーカーが対応しております。

安心して療養生活を送れるように…

入院支援

患者さんやご家族が安心して入院していただけるように支援しています。

患者さんやご家族へ入院に関する手続き方法などの説明を行っています。また、入院に伴うさまざまな問題や不安に対して相談をお受けしています。地域の医療機関と連携を図り、入院や治療が滞りなく進むように支援いたします。

退院支援

患者さんやご家族の退院後の生活に関するさまざまな相談をお受けしています。

その主な内容として、

- 退院後の生活について「介護の方法を知りたい」「介護に困っている」等の相談をお受けします
- 自宅退院するときに必要なサービス（介護保険等）が利用できるようなお手伝いします
- 転院先を一緒に探します
- 地域の医療福祉関係機関（例えば、地域包括支援センターやケアマネージャー、市役所等）との連絡・調整を行います

一人で悩まないで……

がん相談

「がん」に関するあらゆる相談をお受けし、問題解決のお手伝いをいたします。

たとえば、

- がんと言われ不安でたまらない、話を聴いて欲しい
- 担当医から提案された治療以外にどんな治療法があるかなど…

相談窓口の場所

相談窓口は医学部附属病院2階の受付ロビーのフロアにあります。入り口に⑫番の表示があります。



連絡先

鹿児島大学病院 地域医療連携センター
TEL 099-275-5970



〈医科〉診療案内

※初診受付時間／8:30～11:00 ※診療時間／8:30～17:00

※休診日／土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始(12月29日～1月3日)

※診療日の詳細について、鹿児島大学のホームページで最新の情報を紹介しております。

(<http://com4.kufm.kagoshima-u.ac.jp/>)

※初診の方で紹介状をお持ちでない場合は、保険外併用療養費(初診時負担金)として3,150円が必要です。

平成25年 8月現在

診療センター	診療部門科	電話番号	階	初診日	再診日	初診予約制
循環器センター	心臓血管内科	5731	2	月・火・木・金	月～金	①
	心臓血管外科	5815	3	火：心臓外科・血管外科 木：心臓外科	火：心臓外科・血管外科 木：心臓外科	②
消化器センター	消化器内科	5731	2	月・木	月・水・木・金	①
	消化器外科 (I)	5803	3	月・水	月・水	①
	消化器外科 (II)	5815	3	火・木	火・木	②
脳・神経センター	神経内科	5731	2	水・金	月～金	①
	脳神経外科	5828	3	火・木・金	火・木・金	③
呼吸器・ストレスケアセンター	呼吸器内科	5731	2	月・水・金	月・水・木・金	①
	呼吸器外科	5815	3	月・火・水・木	月・火・水・木	②
	心身医療科	5731	2	月・木 (午前)	火・水・金 (午前)	①
腎臓・泌尿器センター	腎臓内科	5731	2	月・木・金	月・木・金	①
	泌尿器科	5860	3	月・金	月・火・木・金 (水は指定外来・予約限定)	①
血液・内分泌・糖尿病センター	血液・膠原病内科	5731	2	月～金	月～金	①
	糖尿病・内分泌内科	5731	2	月～金：糖尿病内科 火・木・金：内分泌内科 月・水・木：甲状腺内科	月～金	②
	乳腺・内分泌外科	5803	3	月～金：乳腺外科 月・水 (午前)：内分泌外科	月・水 (午前)	②
メンタルケアセンター	神経科精神科	5776	3	月・水・木・金	月・水・木・金	①
小児診療センター	小児科	5787	2	月：神経、一般外来 (術前) 火：神経、内分泌 水：循環器 木：膠原病、総合外来 (術前) 金：血液・腫瘍、腎臓	月～金 (午前のみ)	①
	小児外科	5900	3	月・火・水・木・金	火・木	①
女性診療センター	産科、婦人科	5888	3	火・木	月・水・金 (午前)	①
整形・運動機能センター	整形外科・リウマチ外科	5840	2	月・水 (午前)	月 (午後)・火・水 (午後：予約制) 月：脊椎・腫瘍疾患 火：関節疾患 水：側弯外来、関節、腫瘍	③
感覚器センター	皮膚科	5850	3	月・火・金	月・火・金	①
	眼科	5865	2	月：網膜硝子体、ぶどう膜炎、角膜、神経	月：網膜硝子体、ぶどう膜炎、角膜、神経	①
				火：涙道、黄斑変性	火：黄斑変性、神経、涙道	
				水：網膜硝子体、緑内障、ぶどう膜炎、角膜、神経	水：網膜硝子体、緑内障、ぶどう膜炎、角膜	
				木：黄斑変性 ロービジョン(第1・3週のみ)	木：黄斑変性、ロービジョン(第1・3週のみ)	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	5870	3	月・火・水・木・金	火・木 (予約制)	①	
放射線診療センター	放射線科	5880	2	月～金 (部門により、外来は初診・再診どちらも曜日指定あり)	月～金	②
麻酔全身管理センター	麻酔科	5885	3	月・火・木・金	月・木・金	①

(↑ 099-275- × × × × で直接電話できます。)

初診予約の説明

予約制欄の番号の診療科	①	②	③
予約がない場合の対応	予約と紹介状のない場合は、原則として本院での受付を行わず、地域の医療機関での受診をお願いすることになります。	予約と紹介状のない場合でも、受付を行います。 (※なるべく初診予約の取得をお願いします。)	
予約の申込先	初診予約の担当部門は、医務課(外来予約担当)になります。 予約の取得に関することは、こちらへお問い合わせ下さい。 ●TEL：099-275-5168 ●FAX：099-275-6698 ※紹介患者予約申込書は、本院ホームページに掲載しています。 http://com4.kufm.kagoshima-u.ac.jp/appointment/medi2.html		予約の取得に関することは、こちらへお問い合わせ下さい。 ●脳神経外科 TEL：099-275-5828 ●整形外科 TEL：099-275-5840
初診予約の方法	①初診については、地域の医療機関から本院へ、FAXにて予約の申し込みをしていただきます。 本院からは地域の医療機関への予約報告書と患者さん用の予約票を送付いたしますので、患者さんは予約票をお受取下さい。 ②患者さんは予約の日時の20分前までに、紹介状と予約票と保険証等を持参し、本院2階初診受付の窓口へお越し頂き受付し、本院での診療を受けて頂きます。		
再診予約の方法	・再診の予約の取得及び変更は、各診療科外来で行います。予約後は予約票をお受け取り下さい。 ・血液検査やレントゲン撮影が予約されたときは、来院時間等について各診療科で指示を受けて下さい。 ・心臓血管内科、消化器内科、腎臓内科、小児科、皮膚科、耳鼻咽喉科、麻酔科、呼吸器内科、血液膠原病内科、眼科、神経科精神科は、予約のない場合は原則として本院での受付を行わず、地域の医療機関での受診をお願いすることになります。		

※「女性専用外来」、「セカンドオピニオン」も予約制です。 ◎女性専用外来：TEL 099-275-5970 ◎セカンドオピニオン：TEL 099-275-5168

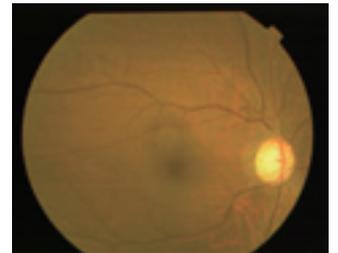
眼科

光のあることの喜びを

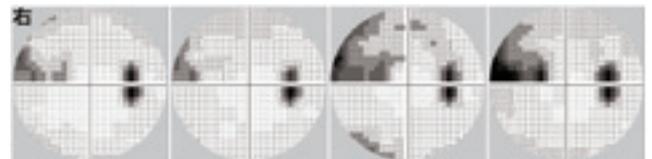
日本における失明原因の第1位は緑内障、第2位は糖尿病網膜症です。

今回は第一位の緑内障についてお話いたします。40歳以上では20人に一人、70歳以上では10人に一人は緑内障を持っているといわれています。緑内障は見える範囲(視野)が徐々に狭くなっていく病気です。その主な原因は、眼圧(目の硬さ)により目の底の神経が障害され数が減ってしまうことによります。自覚症状が乏しく、かなり視野が障害されないと気が付きません。治療法は、まず点眼で眼圧を下げます。点眼でも眼圧の下がらない場合、視野の進行が抑えられない場合は、手術が必要なこともあります。傷害された視野は回復することがありません。しかし、視野障害の進行は遅い病気ですので、治療をすればかなり視野障害を抑え失明を防ぐことができる病気です。そのために大切なことは早期発見、早期治療です。検診で眼底検査を受けるようにいたしましょう。

鹿児島大学眼科では、白内障手術をはじめ、緑内障手術、糖尿病網膜症、網膜剥離などの網膜硝子体手術など、年間1000例を超える手術を施行しており、極めて良好な成績をあげております。今後、病院新築や手術場の増設などで、いつそう便利に手術が受けられるようになります。特に緑内障や網膜の手術は、専門的機械や知識が必要ですので、鹿児島県で最多の手術を行っている当病院で行われることをお勧めいたします。患者さんの光を回復させ、少しでもQOL(生活の質)の向上に手助けできればと、日々スタッフ一同努力し頑張っておりますので、鹿児島大学病院を利用させていただきたいと思っております。



緑内障の眼底写真



視野の進行

TOPICS

病院
再開発

現在の建物は築後30年以上が経過しているため、病院内施設の充実、患者さんの療養環境改善を目的に、平成19年度から建物の増築・改修を行っています。ご不便をおかけいたしますが、ご協力をお願いします。

新病棟(C棟)が竣工しました

新病棟(C棟)が7月に竣工しました。騒音等、患者さんには大変ご迷惑をお掛けしましたが、皆様のご協力のおかげで、無事に完成させることができました。この場を借りまして、厚く御礼申し上げます。新病棟(C棟)への引越は12月末を予定しており、その後、本格稼働となります。

新病棟(C棟)【平成25年7月竣工】


 広報誌編集部会からのお知らせ

鹿児島大学病院の診療内容、病気について的一般知識など知りたいことがありましたら、お知らせください。

また、「桜ヶ丘だより」への皆様方からのご意見・ご感想をお待ちしております。

鹿児島大学病院広報誌 桜ヶ丘だより〈31号〉

2013(平成25)年10月発行

発行／鹿児島大学医学部・歯学部附属病院広報委員会広報誌編集部会

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号 TEL 099-275-6692

【鹿児島大学病院ホームページアドレス】

<http://com4.kufm.kagoshima-u.ac.jp/>